

製造番号

使用期限

第2類医薬品



「小児用」
ベナール液

ZENEL
かぜの諸症状の緩和
「小児用」ベナール液

**頭痛
発熱
のどの
痛み**

第2類医薬品 30mL

効能又は効果

かぜの諸症状(発熱、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発汗、頭痛、関節の痛み、筋力の低下)の緩和

用法及び用量

1回 3才以上7才未満2.5mL、1才以上3才未満1.9mL、6ヶ月以上1才未満1.5mL、3ヶ月以上6ヶ月未満1.3mL、1日3回食後および必要場合は就寝前に服用するものとし、また場合によっては、1日6回まで服用することとしても差し支えませんが、1日6回服用する場合は原則として約4時間の間隔をおいて服用して下さい。(計量容器を添付する)※(1)用法用量を厳守して下さい。(2)小児に服薬させる場合には、産産者の指導監督のもとに服用させて下さい。(3)2歳未満の乳幼児には、医師の診察を受けさせることを優先し、止むを得ない場合のみ服用させて下さい。(4)3ヶ月未満の乳児には服用させないで下さい。

成分及び分量(30mL中)

アトモア・ブエン350mg、α-メチルエドリン塩酸塩20mg、グルコフェニラミンマレイン酸塩4mg、カフェイン水和物40mg、添加物白糖、D-ソルビトール、サクカリナNa、エタノール、フェニトール酢酸Na、パラベン、香料、グリセリン、プロピレングリコール

保管及び取り扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。(2)小児の手の届かない所に保管して下さい。(3)他の容器に入れ替えないで下さい(誤用の原因になったり品質が変わります)。(4)使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

お問い合わせ先 電話 06-6352-2381
受付時間 9時から17時までは、日、夜間を除く

発売元 ゼネラル薬工業株式会社
大阪府北区天満3丁目6番1号
製造販売元 ゼネラル薬工業株式会社
和歌山県白川郡河村町640番地



4 962721 103926

△ 使用上の注意

×してはいけないこと(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 本剤又は本剤の成分によるアレルギー症状を起こしたことがある人、本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起したことがある人は服用しないで下さい。2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮痙去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、鼻物除き薬、アレルギー用薬等)3. 服用後は薬物等の運転をしないで下さい(眠気等があらわれることがあります)。4. 服用前後は飲酒しないで下さい。5. 長期服用しないで下さい。

■ 相関すること

1. 次の方は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人。(4) 高齢者。(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(6) 次の症状のある人。高熱、排便困難(7) 次の診断を受けた人。甲狀腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、腎・十二指腸潰瘍、結内痔2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので直ちに服用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤・かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐・食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	即座死す、顔面がゆがみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦し、動悸、意識の障害等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮剥離症候群、 急性汎発性発疹性紅斑	発熱、目の充血、口唇に苔のたがれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発赤・発疹、赤くはれた皮膚の上から水泡が浮腫(むくみ)が出る。全身がひどい痒みがある。めまい、吐きけ、息苦し、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、めまい、悪寒、嘔吐(便血や白目、尿が黒くなる)、倦怠感、全身の乏力、尿が茶色になる。
間質性肺炎	胸膈を上記のようになり、呼吸が浅く、呼吸が速くなる、息苦し、発熱等があらわれる。咳がひどくなる、痰が濃くなる。
ぜんそく	息をすときゼーゼー、ヒューヒューと喘る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	発熱、発赤、息苦しさ、発熱、発赤や黄疸が重くなる。疲労感、めまい、気力が落ちる。くたさず、血球数があがる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
腎障害	発熱、悪寒、尿量の減少、全身のむくみ、全身がだるさ、尿が濁る、腰痛、下痢があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増悪が認められた場合には、服用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。口のかわき、眠気、45～60日間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

副作用救済制度 電話0120-149-931